

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 597 事業名 防火協力団体育成指導事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		消防費	
	項		消防費	
	目		火災をなくす市民運動費	
	大事業		火災をなくす市民運動事業	
事項		防火協力団体育成指導事業		

分野別目標	1	安心して、安全に暮らせるまち
政策	2	消防・救急救助体制の充実
施策	1	予防体制の充実
取組	2	防火防災意識の高揚と自主防火活動の推進

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間		～	
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	予防課	垣鼻 正純 (427-0119)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	市民の防火意識の高揚を図るため	防火・防災のつどい、総合防災訓練、防火研修会等自主防火活動の実施				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		防火協力団体（防火委員会連合会、婦人防火クラブ連合会、防火委員会、婦人防火クラブ）への交付金交付 出初式 防火研修会	防火協力団体（防火委員会連合会、婦人防火クラブ連合会、防火委員会、婦人防火クラブ）への交付金交付 紀の川水防演習参加 出初式 防火研修会	防火協力団体（防火委員会連合会、婦人防火クラブ連合会、防火委員会、婦人防火クラブ）への交付金交付 市総合防災訓練参加 出初式 防火研修会		

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	1,232	1,208	1,220	1,184	1,196	1,240	1,196		1,196	
伸び率 (%)	-	-	-1.0%		-2.0%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	1,086	2,319	2,333	2,144	2,144	2,206	2,144		2,144
	非常勤職員				75	75	202	75		75
小計		2,319	2,333	2,219	2,219	2,408	2,219		2,219	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	1,232	1,208	1,220	1,184	1,196	1,240	1,196		1,196	
所要人数	常勤職員	0.14	0.3	0.3	0.28	0.28	0.28	0.28		0.28
	非常勤職員				0.04	0.04	0.08	0.04		0.04

3 目標及び実績

指標名及び達成状況						平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
活動指標	自主防火活動回数	年度目標値				100	100	100	100	100	
		実績値				81	69	68			
	単位	回数	全体目標値		100	全体目標達成度		68.0%	81.0%	69.0%	68.0%
			年度別達成度								
成果指標	自主防火活動人員	年度目標値				1000	1000	1000	1000	1000	
		実績値				1390	965	1105			
	単位	人	全体目標値		50000	全体目標達成度		68.4%	139.0%	96.5%	110.5%
			年度別達成度								
防火協力団体数	年度目標値				86	85	85	85	85		
	実績値				85	83	82				
単位	団体	全体目標値	85	全体目標達成度	96.5%	年度別達成度	98.8%	97.6%	96.5%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載)
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	A
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	地域の防火リーダーである防火協力と連携して、火災をなくす市民運動を展開することにより、地域住民の防火意識の高揚を図る。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	